

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		庁議運営事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健全	所属部	総務企画部	課長名	坂井 竹志
	施策	2	行政経営の推進・改革	所属課	総務課	担当者名	大久保 志穂
	業務分野	5	職員の人材育成と効果的な組織運営	所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227
予算科目		会計一般	款 項 目 事業連番	法令根拠			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	市政の推進に当たって各部相互の連絡を密にし、もって本市行政の適正な執行を図るための庁議の運営を行う事業。庁内の最高決定機関として以前から幹部会議や重役会議などと称されて、毎週行なわれていたが、合併により庁議としてメンバーを三役及び部長級として開始された。部長制となって課長クラスの会議が部長クラスとなり、メンバーも18人から14人となった。平成24年度から課長級の女性職員1名、課長補佐級の女性職員4名が参画することとなった。平成28年は次長級1名、課長級3名が出席。令和4年度：全20名。令和5年度：全21名。令和6年度：23名。
【業務の流れ】	定例(毎月1日及び15日)及び必要に応じて臨時庁議を開催し、庁議開催及び議題等の提出通知、庁議前日又は当日朝、市長、副市長、政策監、総務部長、市長公室長、総務課長、秘書政策課長で打ち合わせ、資料配布、司会進行(総務課男女共同参画班長)、議題進行(総務部長)、議事録作成、決定事項等の派遣・出向職員への周知を行った。秘書政策課との連携を図り、市長の日程を調整しながら開催する。
【主な予算費目】	予算無し

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

庁舎内の議決機関として、市長以下人の庁議メンバーによる会議を定例会として月2回開催し、議題等の決定を行なった。令和6度は市長以下23人(うち女性職員5人)

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

前年度と同様

③予算の主な増減の理由

成果指標

ア 適正に運営された庁議の割合

(単位)

%

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

予算無しなので、事業費削減の余地なし

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)